

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
さて、ここに第14期（2016年11月1日～2017年10月31日）報告書を作成いたしましたので、ご高覧くださいませようお願い申し上げます。

当社グループの主要な事業領域であるスマートフォン市場では、デュアルカメラや高画素フロントカメラ、大型有機ELディスプレイや虹彩認証等、新デバイス・新機能の搭載モデルが各社より相次いで発売され、話題を集めました。一方、当社グループの新たな事業領域と位置付けている人工知能（AI）を活用した関連産業の市場は、金融、製造、情報通信から社会インフラへと広がりをみせました。

このような状況の中、当社グループのカメラデバイス事業においては、スマートフォン市場での更なるシェアアップを目指し、新興スマートフォンメーカー等への営業活動を積極的に進めました。一方、ネットワークサービス事業においては、新サービスの提供や顧客・市場開拓のため、他社との業務提携等にも積極的に取り組み、売上成長に努めました。また、当社グループは、魅力的かつ技術優位性の高い製品開発や将来を見据えた基礎技術研究、新規事業立ち上げのための市場調査活動にも注力してまいりました。

株主の皆様におかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長  
平賀 督基  
Masaki Hiraga

証券コード：3653

第13期に開始した戦略2年目の進捗状況についてお伝えいたします。

### 『全ての「カメラ」に知能を持たせる』

画像処理と画像認識技術を融合することで  
IoV (Internet of Vision) の世界を実現する

#### Computational Photography

カメラの物理的・光学的な限界から生じる課題を軽減・解決することを目的とした技術

#### Deep Learning

多層構造の最先端ニューラルネットワーク技術による機械学習

### 各戦略の2年目の状況・進捗

#### 戦略 1

##### カメラデバイス事業の伸長・拡大

- 既存技術の強化・進化
  - ・累計20億ライセンス超を達成
  - ・当社製品搭載スマートフォンがDxOカメラ性能評で過去最高を記録
  - ・全球画像生成組み込みソフトウェア「Morpho Spherical Video™」を発表
- スマホ市場のシェア拡大、新規顧客の開拓強化
  - ・中国他アジア地域の顧客の取り込みが進展
- 新規カメラデバイス事業の立ち上げ等
  - ・株式会社コンセプトとの共同開発による「Visual SLAM」技術の提供開始

#### 戦略 2

##### ネットワークサービス事業の確立

- ディープラーニング関連
  - ・株式会社エスアールエルと臨床検体検査分野への画像処理技術の応用に関する共同研究開発を開始
  - ・コンピュータビジョンとディープラーニングとの融合による製品やソリューションの提供を目指し、TOP Data Science社やNSENSE社と業務提携
- 放送局関連
  - ・海外企業において画像処理ライブラリの組み込み評価が進展中
  - ・映像処理のクラウド型サービスの開発実施

#### 【セグメント別売上高推移】

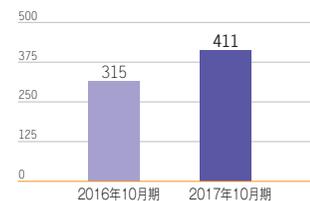
##### カメラデバイス事業

単位：百万円



##### ネットワークサービス事業

単位：百万円



当社の業績・戦略などについて、更に詳しい情報は当社ホームページよりご覧ください。

<http://www.morphoinc.com/ir>



## 株式会社モルフォ 第14期 報告書

2017年10月期（2016.11.1～2017.10.31）

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 （連絡先） 東京都府中市日鋼町1-1  
 ☎ 0120-232-711（通話料無料）  
 （返還先） 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

## みらかホールディングス株式会社との資本提携を発表



当社は、みらかホールディングス株式会社と、みらかホールディングス社の子会社である株式会社エスアールエルとの業務提携をより強固に推進する目的で、資本提携することに合意いたしました。エスアールエル社と当社は、平成29年4月に業務提携を開始し、ディーブラーニングをベースとした画像処理技術を検体検査領域において応用するための共同研究開発を行っております。

この度、本業務提携における共同開発において、一定の進捗を確認したことから、本業務提携をより強固に推進するため、また将来的には当社の画像認識/処理関連技術をみらかグループが推進する臨床検査領域へ拡大する可能性を鑑み、みらかホールディングス社との資本提携を行うことといたしました。

当社は本資本提携によって、経営基盤の整備を進め、検体検査領域向け画像認識/処理技術の一層の向上に努め、より付加価値の高い、先進的な技術の研究開発を積極的に推進し、将来の企業価値向上を目指します。

## 3次元の環境地図作成と自己位置推定ソフトウェア「Visual SLAM」

可動物体上のカメラが、撮影した映像から自己位置を推定し、3次元の環境地図を作成する技術です。本技術を利用することで、GPS信号の届かない状況下でのロボットの自立走行等が実現可能となり、将来的には、AGV、宇宙探査機、警備ロボット、農業ロボット、ドローン等への展開が見込めます。



環境地図を作成しながら自立走行の様子

## 連結業績ハイライト

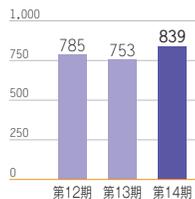
## 売上高

単位：百万円



## 経常利益

単位：百万円



## 親会社株主に帰属する当期純利益

単位：百万円



郵

## 1株当たり当期純利益

単位：円



便

は

が

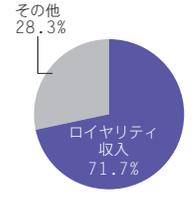
き

## 総資産／純資産

単位：百万円



## 収益区分別の売上構成



## 2018年10月期 連結業績予想

## 売上高

2,650百万円

## 経常利益

900百万円

## 親会社株主に帰属する当期純利益

620百万円

## 1株当たり当期純利益

117.60円

証券コード3653

平成30年1月30日

## 株主各位

東京都千代田区西神田三丁目8番1号  
株式会社モルフォ  
代表取締役社長 平賀 督基

## 第14期定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本日開催の当社第14期定時株主総会におきまして、下記のとおり報告並びに決議されましたのでご通知申し上げます。

敬 具

記

## 報告事項

- 第14期（平成28年11月1日から平成29年10月31日まで）事業報告及び連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
- 第14期（平成28年11月1日から平成29年10月31日まで）計算書類報告の件

本件は、上記の内容を報告いたしました。

## 決議事項

- 議 案 監査役1名選任の件  
本件は、原案どおり承認可決されました。

以 上